

2022年 春闘 定昇のみ

会社ゼロ回答を継続、集約の方向としました

破天荒

教宣部

5102号

2022年
3月28日

化学一般京滋地本
全竹中労働組合

24日(木)、春闘3次の団体交渉を行いました。百円のベースアップなし、定昇のみの回答。秋闘に向けて賃金アップに代わる案を協議するのとこの春闘集約の方向としました。



春闘

京滋地本で現在春闘回答が12支部、内5支部にベースアップ有り。ある支部は15年間0回答、しかし従業員の要求(五百円)は正当と認め満額回答。竹中は業績好調なのに何故？

秋闘に向けての提案

ベースアップ以外の賃上げ方法は無いものと、報奨制度、副業に関して組合・会社でお互いに案を出して秋闘までに協議していく方向となりました。

報奨制度

皆勤報酬：これは有給休暇取得減に繋がる可能性もあることから厳しそうです。

健康優良報酬：例えば昔あった一年間健康保険を使用しない時に景品が貰えたものです。

資格報酬：決められた資格を取得し、その対価として報酬を貰えるものです。

どの制度もだれが見ても平等と

判り数値化できる正当な評価が必要となります。

副業

これは労働協約第5章第3節懲戒第49条3・(5)に記載されている事項に該当します。

会社の許可なく在籍のまま、他に就職したとき。

内容的にグレーでありどこまで副業がNGなのか明確ではありません。

また、労働協約は昭和の時代に作られ、現代のネット環境による販売・取引などが個人で気軽にできる時代まで想定されていないので、その点も争点となります。目先のルール案として

・在籍のまま他社にて雇用契約が発生する副業に関しては事前に会社側に申請すること。

・個人の範疇にて行っている副業は除外とする(農業・家業・ユーチューバー・ネット販売など)

これらについては覚書などを締結する方向での話になります。